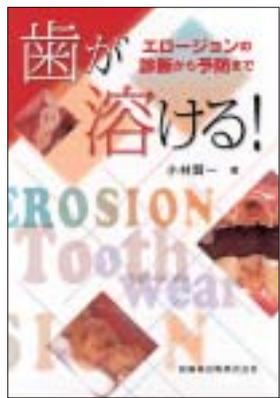


第一生命保険相互会社 日比谷診療所歯科・歯科衛生士／深川優子



B5 判 90 頁
定価 3,990 円
(本体 3,800 円＋税 5%)
医歯薬出版刊(2009 年 9 月発行)

本書は、齲蝕、歯周疾患と並んで、“第 3 の歯科疾患”ともいわれている「Tooth Wear (エロージョン・摩耗・咬耗など)」のうち、特にエロージョン(酸蝕)についての基礎知識、原因とその対処法などが解説されています。私自身、Tooth Wear の概念を知った後では、口腔内を診る目が変わってきました。従来は、プラークや歯周組織、歯石などに注視していましたが、現在は、歯質を“面”で捉えた観察に時間を割いています。

これまで、エロージョンに関するおもな情報源は 2006 年 4 月から 1 年間『デンタルハイジーン』に連載された、「歯が溶ける！ 酸蝕を知っていますか？」(小林賢一著)でしたが、本書は、本連載をベースに加筆・新たに書き起こされたもので、豊富な臨床写真、ならびに Tooth Wear に関する最新の情報が網羅されています。

「エロージョン」とは、昨今の健康志向による酢(クエン酸)や柑橘類などの大量摂取、疾患、薬剤の副作用による胃酸の逆流などが原因で、歯

質表層が溶解された状態をいいます。エロージョンの発現は、生活習慣と密接な関係があり、歯科衛生士および患者さんにとって身近なテーマといえますが、これらの生活習慣が口腔内に思いがけないダメージを及ぼすことは、周知されていません。

本書は、歯科衛生士が視野を広げることに大変役立ちます。エロージョンの概念を知ったうえで予防処置にあたると、実に多くのエロージョンが疑われる症例に遭遇します。

ある歯科衛生士の話ですが、ほぼ全歯が修復されている患者さんの初診時に、1 本だけエロージョンが疑われる天然歯の口蓋側の異変に目を留めたそうです。内因性のエロージョンを疑った彼女は、「胃酸が逆流することはありませんか？」と質問したところ、患者さんに「すごい！ なぜわかるのですか。これからもあなたに口腔内を管理していただきたい」と言われたそうです。まさに 1 本の歯がきっかけとなって患者さんと信頼関係を結ぶことができたのです。

ライフスタイルに起因するエロージョンは、今後増加の傾向にあると予想され、臨床現場においても注目され始めています。現段階での対処は、すでに起きているエロージョンの重症化を防ぐ二次予防のステージにありますが、今後、本書を活用することにより、歯科衛生士の活躍の場を“エロージョンそのものを起こさせない”一次予防のステージに引き上げることが可能です。

改めて書籍を読んで勉強することは、最新の情報が得られるばかりでなく、仕事や人生の幅までも広げることにつながります。本書をまさにその 1 冊として推薦します。